

第98回国際協同組合デー兵庫JCC宣言

近年の国際社会は、民族紛争や国家間の経済摩擦などにより、世界的な調和が乱れるとともに、ナショナリズムや自国の利益を優先する風潮が強まっています。また、世界的な気温の上昇や干ばつ、台風などの自然災害に加え、新たな脅威である新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により経済活動や日々の生活が大きく抑制され、世界中の多くの人々が、暮らしに不安を感じることとなりました。

私たち協同組合は、組合員ひとりひとりが「自ら行動し、助け合うことで社会を変えていく」という理念のもと、相互に助け合い、よりよい暮らしを実現するための組織です。このような状況である今こそ、地域社会や経済、安全安心な食料の供給、環境の保全などの分野において、新たな価値観のもと、各団体が果たすべき役割を見つめ直し、SDGsに掲げる持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のための活動を広げていくことが更に求められます。

兵庫では、生協、農協、漁協、森林組合の4つの協同組合の連携を30年以上前から全国に先駆けて行っており、近年では「虹の仲間づくりカレッジ」を通じて、次世代を担う若手職員間の交流と学びを目的とした取り組みを積極的に実践しています。歴史ある本県の協同組合の連携を軸に、私たちはアフターコロナの新たな日常生活や目まぐるしく変化する社会に、「協同の力」で対応し道を切り拓くため、あらためて人を基盤にした助け合いの精神と仲間のつながりを守り育てて行かなければなりません。

兵庫県内の協同組合に集う私たちは、「協同の力で未来を拓く」のテーマのもと、協同組合の可能性について認識を深めることで、次の世代が、協同組合間のさらなる連携を進めるとともに、心を一つにして、暮らしよい兵庫と協同組合の発展をめざし、一層努力していくことをここに宣言します。

2020年 7月 3日

兵庫県協同組合連絡協議会（兵庫JCC）